

安全・安心な学校環境を目指して 横浜市立学校の空気の見える化に取り組みます！

横浜市立学校では、感染症対策の一環として教室の換気に努めています。

令和5年1月10日(火)から、各クラスの場所や場面に応じて、効果的な換気を行うことができるよう、全市立学校、全クラスに二酸化炭素濃度が測定できるCO₂モニターを設置します。これにより「空気の見える化」が行われ、児童生徒の換気の実践や意識の向上を図り、安全・安心な学校環境につなげていきます。

また、保護者の方をはじめ、関係者のみなさまにも安全・安心な学校環境を知っていただくきっかけとして、各校に設置するCO₂モニターのうち4台をインターネットに接続し、全市立学校の二酸化炭素濃度等をWEBページに公表していきます。

なお、全市立学校、全クラスにCO₂モニターを設置すること及び全校のデータをWEBページで公表していく取組は全国初となります。



▲CO₂モニターイメージ
(インターネットに接続が可能な機種)

実施概要

換気方法	クラス内の二酸化炭素濃度 1,000ppm※を目安に換気に取り組みます。
対象	横浜市立学校全校 (小・中・義務教育・高等・特別支援学校)
設置台数	全校 (509校) 全クラスに設置します (10,071台)。 各校の4台をインターネットに接続し、この4台分の情報が随時確認できるように専用のWEBページに公表します。
URL	https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/hoken/kuukimieruka.html ※当ページは1月10日(火)AM9:00に公開予定です。

※ 政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会において、学校でも「できる限り1,000ppm相当の換気等に取り組むことが望ましい」とされていることを踏まえた目安

<参考：学校での設置イメージ>



テレビ台や棚の上に設置




時計の横に壁掛け



裏面あり

空気環境見える化MAP

マークについて
 キャラクターの表情で空気の状況を表現します



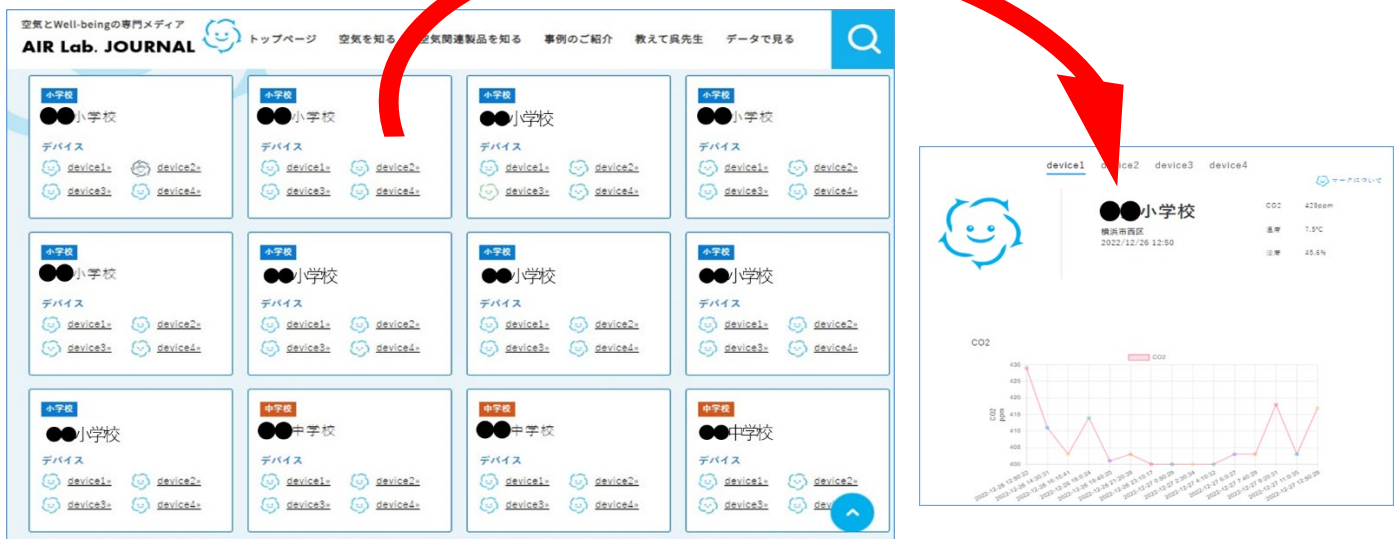
700ppm以下 701~1,000ppm 1,001~1,200ppm 1,201~1,500ppm 1,501ppm以上

特徴
 学校名をクリックするとウインドウが開きます

特徴
 個々のデバイスをクリックすると二酸化炭素濃度などの記録が見られます



▲「空気環境見える化 MAP」で各校の換気状況が MAP 上に表示されます。



空気とWell-beingの専門メディア
AIR Lab. JOURNAL
 トップページ 空気を知る 空気関連製品を知る 事例のご紹介 教えて呉先生 データで見る

▲区ごと・校種別にも表示可能です。
 各校の空気環境が表示されます。

▲CO₂モニターごとに、二酸化炭素濃度、温度、湿度の推移グラフが表示されます。

※ この取組は、横浜市が「株式会社 UPDATER」に委託し、実施しています。
 ※ 公表 WEB ページの画像は提供可能ですので、お問合せ先にご連絡ください。

お問合せ先

教育委員会事務局健康教育・食育課長 長田 和彦 Tel 045-671-3234